

RCCの名称：「カシナガ消防団」

1. 活動目標

東部丘陵要素という特徴ある自然環境を備えた中部圏に住むわれわれが、この身近な自然を守る活動のひとつが「カシナガ消防団」です。

「カシノナガキクイムシによるブナ科樹木萎凋枯死被害」(以下「カシナガ被害」)が、愛知県とその周辺においても規模を拡大しつつあります。

「森の自然は森に任せろ」という意見もありますが、雑木林は人の手入れによって成り立ってきた二次林であり、「カシナガ被害」は人の手が入らなくなった結果であることは、各研究者の間で明らかになっています。私たちの世代で雑木林の歴史を終わらせるのはいかにも残念です。

森の感染症とも言うべき「カシナガ被害」は、松枯れ被害のごとく拡大してしまえば手の施しようもありません。私たち市民レベルで出来る現実的な対応とは、いわば、大火事になる前の早期発見・初期消火につきると思ひ「カシナガ消防団」を結成しました。

2. 活動状況の一例

現状風景とカシナガ被害に対する先生を招いての勉強会



小幡緑地周辺住民に対してカシナガ被害についての講習会と防除方法の実習

